

行程表およびルート図（4月27日）

[行程表]

時間	場所	
9:00	大垣駅(集合)	南口
9:30 ~ 9:45	① 大垣市荒崎地区	
10:00 ~ 10:15	② 近鉄牧田川橋上流	牧田川左岸7.2k付近
10:30 ~ 10:40	③ 福東輪中	輪之内町橋俣地先
10:50 ~ 11:00	④ 安八破堤箇所	長良川右岸34.0k付近
11:10 ~ 11:20	⑤ 新幹線掛斐川橋	掛斐川左岸38.0k付近
11:50 ~ 12:00	⑥ 海津橋	掛斐川右岸19.2k付近
12:10 ~ 13:10	⑦ 昼食	木曽三川公園センター
13:20 ~ 13:30	⑧ 多度川・鰐江川合流地点 〜JR掛斐川橋	掛斐川右岸7.2k〜12.5k付近
13:40 ~ 14:10	⑨ 桑名市住吉地区	掛斐川右岸4.8k付近
14:15 ~ 14:45	⑩ 桑名市城南地区	掛斐川右岸-0.6k付近
15:00 ~ 15:10	⑪ 伊勢大橋上流	長良川右岸6.6k付近
15:15 ~ 15:25	⑫ 尾張大橋下流	木曽川右岸6.2k付近
15:35 ~ 15:45	⑬ 尾張大橋上流	木曽川左岸9.0k付近
16:00 ~ 17:00	⑭ 意見交換会	輪中の郷(桑名市)
17:30	名古屋駅(解散)	

[ルート図]

注) 行程に関しましては、交通事情や視察の状況等により、若干時間の変更になる場合があります。

4/27 ②近鉄牧田川橋上流

かつての牧田川、杭瀬川は、川幅が狭く、何度も水害の危険にさらされてきました。

昭和51年の出水を契機に、牧田川、杭瀬川の川幅をほぼ倍にする計画が定められました。

引き堤に伴う、近鉄養老線、高瀬橋、烏江橋の改築が行われました。

現在、旧背割堤部分の撤去を行っています。

平成19年度末には、新しい河道が完成し、洪水時の安全性が高まります。

川幅の拡幅

<牧田川・杭瀬川の横断イメージ(下流より)>



4/27 ⑤新幹線揖斐川橋

- 揖斐川の河道掘削にあたっては、湿地やワンドなどの保全や再生を行い、多様な動植物の生息、生育場所としての環境に配慮する。

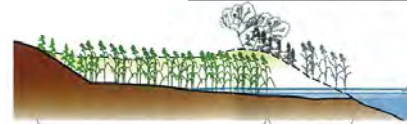
緩やかな勾配の湿地環境の再生



ワンドの保全、再生



----- 現在の断面
——— 掘削後の断面



湿地 浅水域・ワンド
高水敷を低水位まで掘削し
湿地等を創出する



洪水流下能力を確保するとともに
かつての水際の環境を創出する
(揖斐川 33~34km付近)

-66-

4/27 ⑤新幹線揖斐川橋

- 岡島頭首工は、西濃地方へ農業用水を送るため、農林水産省の「西濃用水事業」により昭和59年に完成した。



-67-

4/27 ⑤新幹線揖斐川橋

揖斐川基準地点(万石)

- 洪水を防ぐための計画を作成するときに、代表となる地点。
- この地点で基本高水のピーク流量や計画高水流量を定め、その河川の改修計画が作成される。



-68-

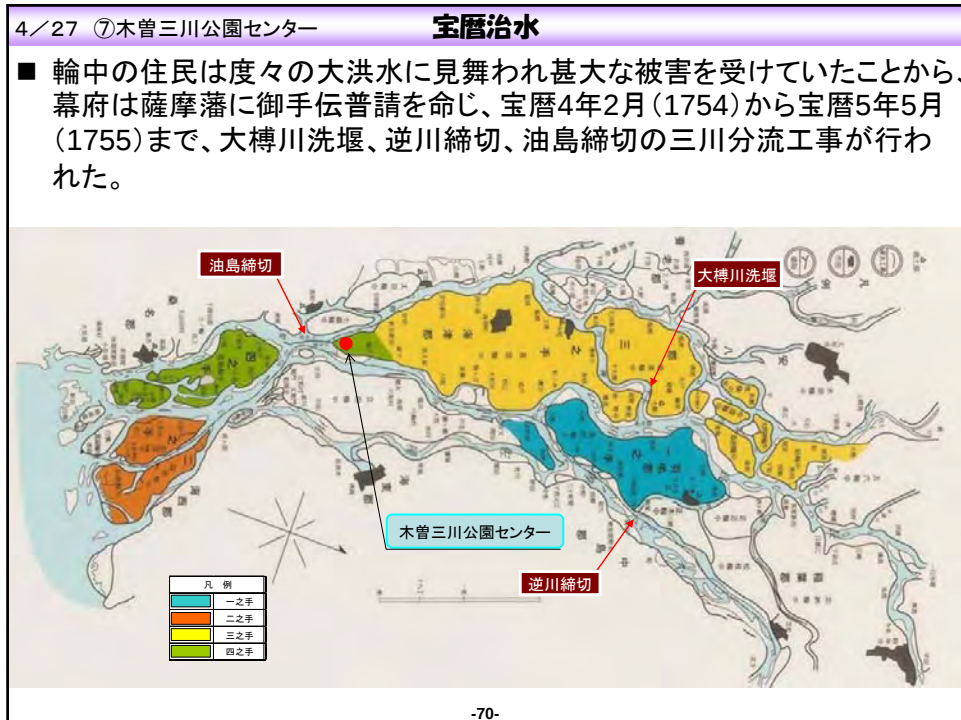
4/27 ⑥海津橋

太田特殊堤

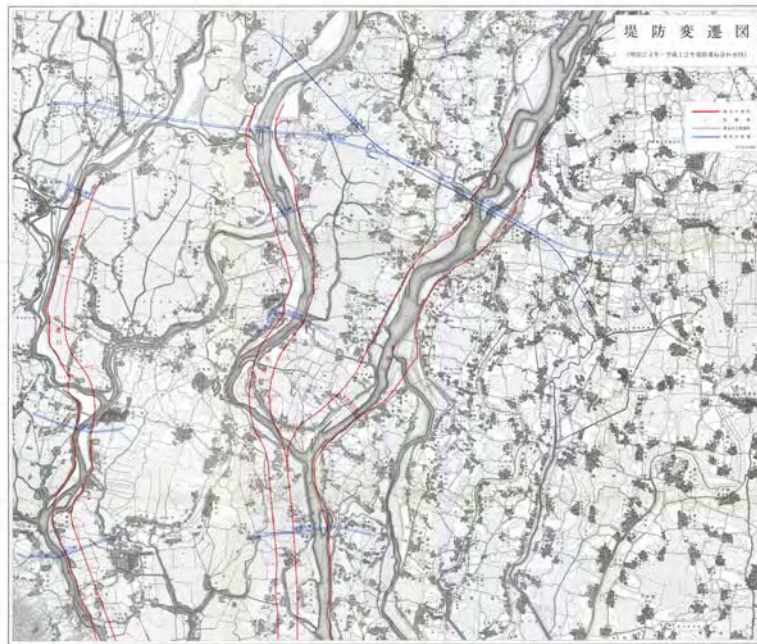
- 堤内側に民家が密集していることから、この区間はパラペット構造の特殊堤として昭和35年に施工された。老朽化により洪水時の漏水が著しいため、空洞部分のグラウト充填、目地補修、堤外側の押さえ盛土を施工している。



-69-



4/27 ⑦木曽三川公園センター **明治24年と平成12年堤防重ね合わせ図**



-72-

4/27 ⑦木曽三川公園センター **木曽・長良背割堤とケレップ水制**

- ケレップ水制は、「堤防護岸の安全を図る」、「水流の方向を変えさせ、水衝部を固定する」、「低水路幅、水深の維持」など治水施設として明治改修の際に整備された。

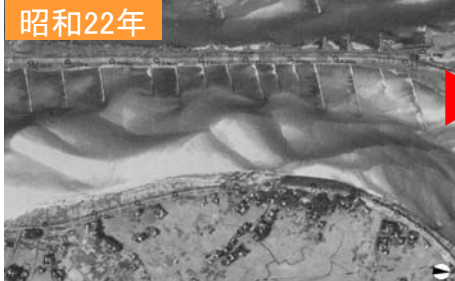


-73-

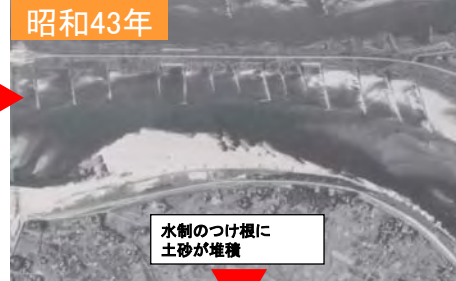
4/27 ⑦木曽三川公園センター ケレップ水制群におけるワンド形成の変遷

- 明治時代に設置されたケレップ水制に土砂が堆積してワンドとなり、現在は多様な生物の生息・生育場所となっている。

昭和22年



昭和43年



平成12年



昭和53年



74

4/27 ⑦木曽三川公園センター ゴミの不法投棄対策(チラシ)

ゴミの不法投棄抑止にご協力おねがいします

最近、川やその付近で、ゴミの不法投棄や迷惑行為をする心ない人が増えており、付近住民の方々や農漁業者の河川利用者は、大変な迷惑を受けています。川やその付近にゴミを捨てることは法律で禁止されています。また、自然環境に悪い影響を及ぼす恐れがあります。

川やその付近(木曽川・長良川・揖斐川)で、ゴミを不法投棄している人などを発見したら、木曽川下流河川事務所が最寄りの出張所にお知らせください。ご協力をお願いします。

- 川への不法投棄は法律で処罰されます
- 罰金物販罪：5年以下の懲役若しくは1000万円以下の罰金
- 河川法：3年以下の懲役又は20万円以下の罰金

1年間のゴミ処理費は2,000万円以上!!



	(単位:円)
家電製品(冷蔵庫・洗濯機)	469,225
家庭ゴミ・産業廃棄物など	18,751,424
タイヤ	257,900
缶	840,000
車	100,000
合計	21,418,549

(平成17年度 木曽川下流河川事務所管内)

このような違法な行為・迷惑な行為も後を絶ちません。



ゴルフやマウンテンバイクは河川敷(河川敷)で許可されています。河川敷(河川敷)で許可されています。河川敷(河川敷)で許可されています。

当事務所では次のような対策を行い、違法行為・迷惑行為の監視を強化します。

- 河川敷への道路の建設
- 河川敷へのフェンスの設置
- 監視カメラによる不法行為等の確認
- 注意看板の設置
- 木曽三川下流河川事務所(木曽川下流河川事務所)との連携強化と啓発活動
- 不法行為対策のための協議会の設置



また、地域の方々のご協力によりさまざまな活動が行われています。

- 地元の方々による清掃活動
- 河川敷モニターによる河川監視及び河川敷環境の維持と啓発活動
- 川と海のクリーン大作戦(毎年10月に実施) など



木曽川下流河川事務所(木曽川下流河川事務所)の協力により、違法行為・迷惑行為の監視を強化します。

違法行為など見かけたら、下記または最寄りの出張所にご連絡ください。みなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

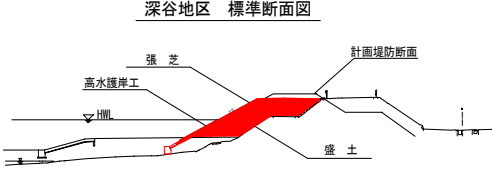
(河川敷利用のお願い)

国土交通省中部地方整備局 木曽川下流河川事務所 占田調整課 TEL: 0504-24-5716 FAX: 11-0002 三重県松阪市大字橋本465

■ 平成19年度を目途に上流部の徳山ダム建設等と併せて、揖斐川右岸のJR関西線から多度・肱江川合流点の堤防強化をすることにより大きな洪水(昭和50年8月洪水)と同規模の洪水を安全に流すことを目的として、低水護岸整備、築堤護岸整備、樋管等構造物の改築を実施している。

一般区間

深谷地区 標準断面図




施工前



施工後

-76-

揖斐川



施工前(H14)



施工後(H18.10)

桑名市 (揖斐川右岸10K付近 今島地先)

-77-

4/27 ⑨桑名市住吉地区 **高潮堤防補強**

■ 桑名の風情と調和を図りながら、地域の街づくりを考えた安全で安心できる高潮堤防の整備を実施。県指定文化財の“七里の渡し”の保全、住吉神社の移転、蟠龍櫓の再建などを実施。

施工前 施工後(H18.10)

桑名市（揖斐川右岸4.0～4.8k 吉之丸～住吉地先）

-78-

4/27 ⑨桑名市住吉地区 **高潮堤防補強**

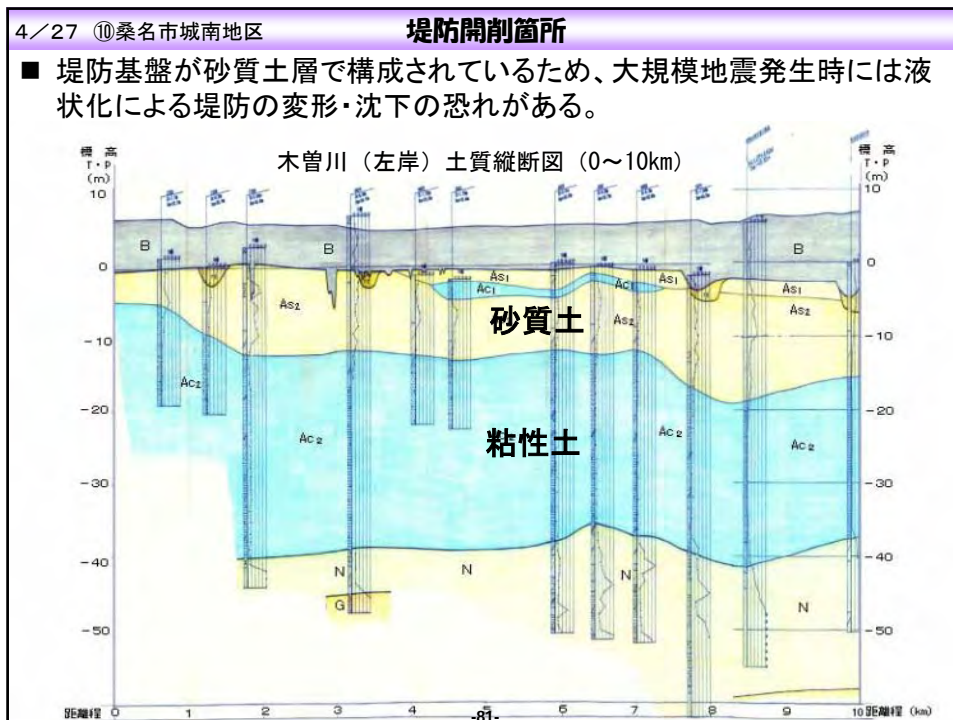
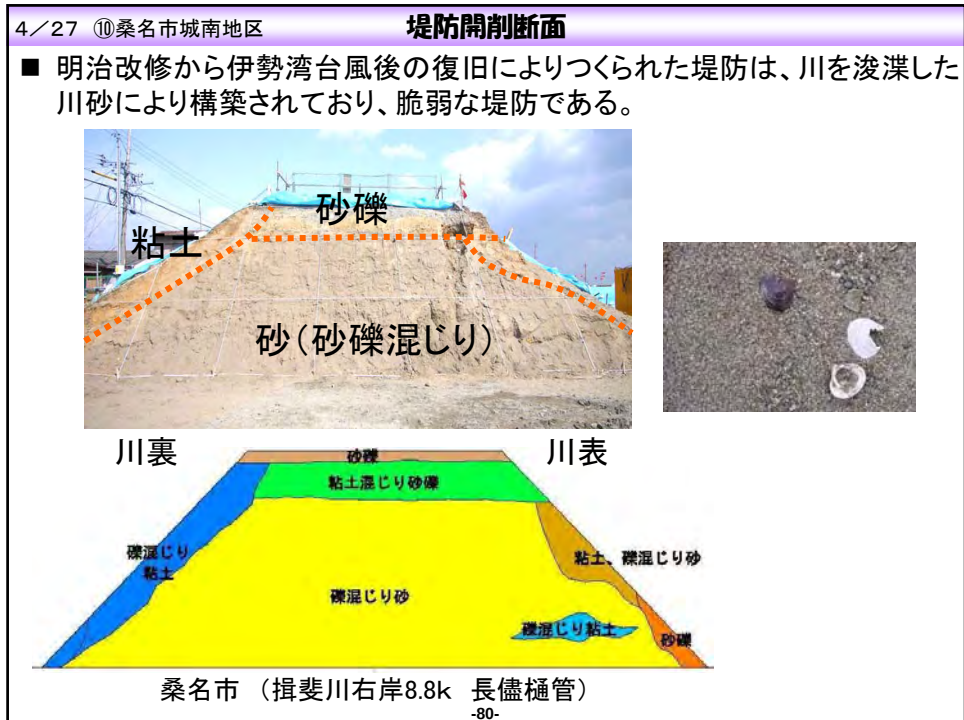
■ 桑名市住吉地区から下流区間（桑名市赤須賀地区）の高潮堤防の整備に伴う赤須賀水門の改築工事を実施中。一連区間を整備することにより、揖斐川右岸河口部の高潮による被害を軽減する。

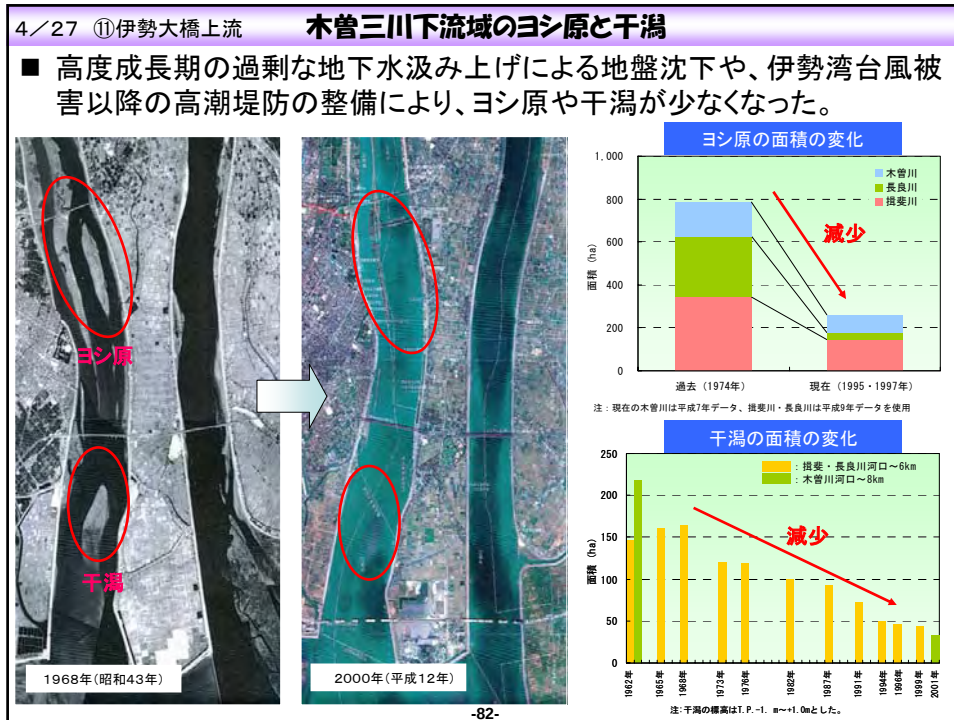
完成イメージ

施工前 施工中(H19.3)

桑名市（揖斐川右岸3.2k 赤須賀水門改築計画）

-79-





-82-



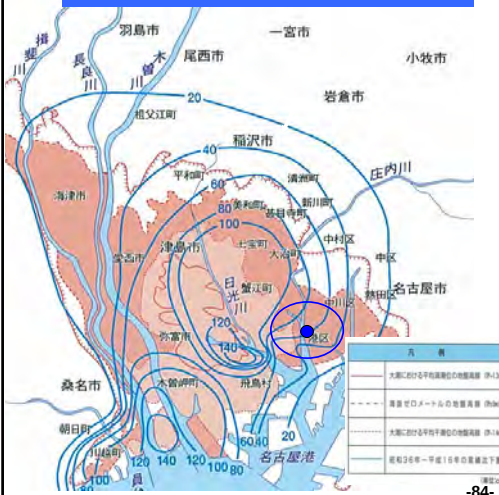
-83-

4/27 ⑫尾張大橋下流

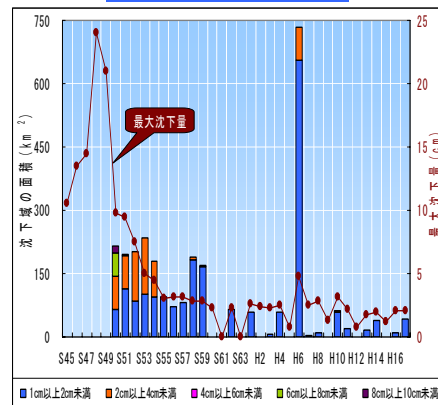
広域地盤沈下

- 昭和30年代後半からの高度経済成長に伴う工業用水等の水需要が増大し、地下水揚水量が多くなり、地盤沈下量が増大した。それにより、高潮堤防をはじめとする治水施設の機能低下、内水の自然排水不能、構造物の破損などの防災機能に影響を与えた。

昭和36年～平成16年累加沈下分布図(単位:cm)



地盤沈下域面積の経年変化



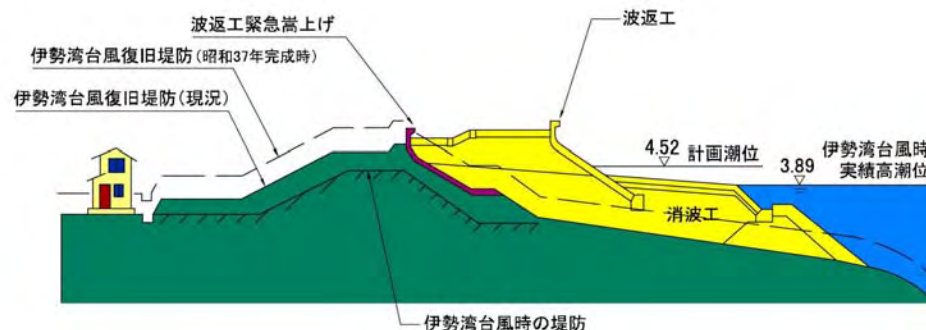
水利用を地下水へと依存する率が高い濃尾平野では、地盤沈下が進行したが、地下水揚水規制により地盤沈下は沈静化した。

なお、H6異常渇水年では、沈下量としては2cm未満であるが広域に及んだ。よって渇水により、揚水量が増大するとさらに地盤沈下が進む可能性がある。

4/27 ⑫尾張大橋下流

高潮堤防補強

- 高潮堤防は、伊勢湾台風の教訓を踏まえて堤防の高さや構造を決め復旧されたが、広域地盤沈下により1m～2m低くなったため、緊急対策として波返工により嵩上げ工事を実施した。現在は、川表に消波工と波返工を設置する本格的な工事を実施中である。



4/27 ⑬尾張大橋上流 **干潟再生事例**

■ 木曽川左岸の五明地区の環境護岸整備を実施し、干潟の再生に取り組んでいる。




施工後(H19.4) 施工中

弥富市（木曽川左岸9.0k付近 五明地先）

-86-

4/27 ⑬尾張大橋上流 **干潟再生事業**

■ 川の整備によって発生した土砂を用いて、治水上問題のない範囲で失われた干潟を再生し、河口部の自然環境の再生に取り組んでいる。

干潟再生



このように高水敷に砂をおき、自然の営力を生かして干潟を作りました。

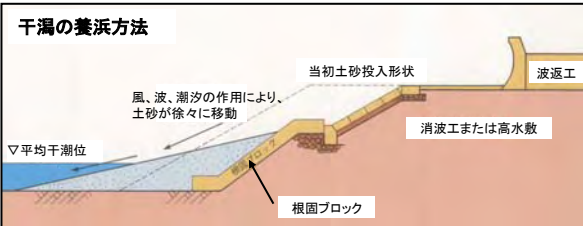
干潟再生



揖斐川右岸（城南地区）

自然の力に任せた干潟の作り方

干潟の養浜方法



当初土砂投入形状
波返工
消波工または高水敷
根固ブロック
▽平均干潮位
風、波、潮汐の作用により、土砂が徐々に移動

干潟に生き物が帰ってきました

ヤマトシジミ



コメツキガニ



-87-